



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成23年5月1日

No.

104

第1回（3月）定例会

- 平成23年度予算関連記事…………… 2～9ページ
- 委員会レポート…………… 10～12ページ
- 一般質問(13人登壇)…………… 13～19ページ



▲県知事選の開票作業

再生紙を使用しています

平成23年度再提出一般会計予算及び 4特別会計予算を可決

総額167億9,563万円

3年連続の修正一般会計予算となる 一般会計予算は89億9,890万円



第1回定例会を2月8日から3月10日まで開催しました。町長の施政方針演説があり、平成23年度一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の予算をはじめ、22年度の補正予算ほか、26件の議案を審議しました。

23年度予算は7人の議員が総括質問を行ったのち、予算特別委員会を設置・付託し、伊藤友子予算特別委員長のもと、近藤昇一、土佐洋子、鈴木知一、守屋巨弘、金崎ひさ、笠原俊一、中村常光、各委員が慎重に審査を行いました。

本会議でも予算特別委員会と同様に組み替え動議が提出され、採決の結果賛成少数で否決となり、町長提案の一般会計予算案も賛成少数で否決となりました。このため、改めて歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億1710万円減額した一般会計予算が再提出され、賛成多数で可決しました。(詳細は6ページ参照方)

一般質問では13人の議員が当面する行政の課題をただしました。

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸び率%	
一 般 会 計	89億9,890万円	90億9,050万円	△9,160万円	△1.0%	
特 別 会 計	国民健康保険	35億3,750万円	35億6,083万円	△2,333万円	△0.7%
	後期高齢者医療	6億8,165万円	6億9,522万円	△1,357万円	△2.0%
	老人保健医療	0万円	551万円	△551万円	皆減
	介 護 保 険	23億4,188万円	22億9,058万円	5,130万円	2.2%
	下 水 道 事 業	12億3,570万円	11億7,665万円	5,905万円	5.0%
	小 計	77億9,673万円	77億2,879万円	6,794万円	0.9%
合 計	167億9,563万円	168億1,929万円	△2,366万円	△0.1%	

町民一人あたりの町税額 16万3,528円
町税55億191万2,000円 / 人口3万3,645人
(平成23年1月1日現在 住民基本台帳人口)



予算審議総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

2月15・16日、23年度予算に対し総括質問を7人の議員が行いました。

守屋 巨弘
(いきいき葉山の会)

問 平成23年度各予算案策定に当り、町長施策方針では「今回の予算においては、長期低迷する今日の社会経済情勢や町の財政状況を踏まえ、行財政改革の一環として職員の給与にも手をつけなければならぬ」と判断した。とある。町長等々の人件費の見直しについて。
町長 人件費の見直しは、職階に隔てなく町長以下全職員が一丸となり、健全な町政運営のために考えるべきと認識しており、現在も見直し作業を継続中である。
問 消防力整備策については。
町長 消防力整備策の見直しについて、昨年12月8日に消防長から警防要員の必要最低人員の検討

結果の報告を受けたが、結論づけるにはさらなる検討が必要であることから、長期配備計画案等を策定し、適正な消防職員定数となるよう検討する。

伊東 圭介
(尚政会)

問 森町長にとって1期4年の最終年度だが、選挙時に掲げたマニフェストの達成度について伺う。
町長 約40項目あったが60%以上は、達成した。今年度中には80%の達成が見込める。
問 予算案の中には、焼却炉補修費やし尿・汚泥下水道投入施設の建設費など今後の方針が明確に示されていない予算が計上されている。予算審査ができないのではないか。
町長 予算編成の段階では、問題が起きていなかった。今後、見直しが必要になる可能性がある。
問 23年度から小学校は新学習指導要領による教育活動が行われるが対応

待寺 真司
(新葉クラブ)

問 町長査定により拡充・縮減した事業は。
町長 一例として拡充事業は、小児医療費助成の一年拡大と、町費教員のインテリジェントティーチャーの増員などがある。
問 ゼロ・ウェイスト推進事業にはかなり高額な予算がついているが、町長査定で拡充したのか。
町長 現場から積算をして出てきたものを、そのまま認めて計上した。
問 縮減を余儀なくされた事業に防災対策費がある。県の補助金がカットされたためだが、知事との懇談会等で議題に取り

上げていただきたい。
町長 機会を通じてこの面の充実を要請していく。
問 現在停止している焼却炉の維持補修に、1億円を超える予算が組まれているが、県のお墨付きが出た場合、今の焼却炉を使っていく考えか。
町長 県の指導で補修とか修理の条件がどうであるか待たないといけない。

加藤 清
(尚政会)

問 現焼却炉は多額の修繕費をかけて、使い続けていくのか。
町長 何年間使えるのかはまだ分からない。
問 実施設計委託の執行何いの最終決裁者は誰か。
生活環境部長 町の事務規定では、金額によるが今回は最終的には町長だ。
問 問題があるにもかかわらず、精査もせず、疑問を持たずに決裁の押印をしたのか。
町長 毎日何十件と決裁を行うが、金額の大きい

ものは、間違いがあると
いう前提は置いていない。
問 下水道投入施設工事請負の最終決裁者は誰か。
町長 私が決裁権を持っている。
問 建築確認申請は取れているのか。
生活環境部長 確認申請は取れていない。
問 実施設計が完了して
いなく、支払いとした責任を町長はどう取るのか。
町長 設計がどの程度生かされるかの確認が必要。

阿部 勝雄
(日本共産党)

問 小児医療費助成を小
学卒業まで拡充すべきだ。
町長 国等の補助金・交付金等で財源を確保する。
問 臨時財政対策債は一般財源で福祉にも使える。
町長 「臨財債」も財源として検討したい。
問 学校の空調やトイレの改善計画を作るべきだ。
教育長 緊急性を優先に、トイレの改修計画は財政状況を考慮し取組む。

問 年次計画を作るべき。
教育部長 整備の計画性を持って実行を目指す。

問 「臭い」と言う長柄小トイレは5、6年後か。
教育部長 臭気はあるが、財政的に相談していく。

問 国保は、僅かな繰り入れで格差は縮小したか。
町長 基金1億円を投入し、若干縮まると考える。

問 下水道審議会に合併浄化槽は個人負担10万円の有利性を示すべきだ。

町長 市町村設置型は住民負担が少なく、促進を考えている。

近藤 昇一 (日本共産党)

問 予算を住民とともにつくり上げていく方策として、北海道のニセコのように町長査定を住民に公開したらどうか。

町長 例に出たニセコのように、分かりやすい予算の内容を町民に公開するような方法も考えたい。
問 し尿浄化槽汚泥下水道投入施設が、敷地面積

の確保ができず、建築できない状況となった問題の原因と再発防止をどのように考えるのか。

今回の事態は縦割り行政の弊害だ。庁舎内で横断的に取り組まれていないのではないか。

町長 御指摘のとおりだと思ふ。

問 責任問題をどのように処理するのか。

町長 原因の究明と、対応策を急いでいる。

問 待機児童対策をどのように予算化したのか。

町長 最低基準を遵守できる範囲で保育を実施している。待機児童解消のため、保育計画をつくる。

畑中由喜子 (いきいき葉山の会)

問 マニフェスト実現の見通しとしてコミュニティバスに関してはどうか。

町長 モデル試験運行を進める必要があるかと準備を進めている。企画調整課が担当になる。

問 子どもの居場所事業は9月までの予算だが9月以降はどう考えるのか。

保健福祉部長 今のデータでは事業を続けるにはまだ弱いかと思う。新1年生が入ってきてどうかを見きわめるには、夏前までかかるかと思う。子どもたちの居場所としていけるよう努力したい。

問 待機児童解消に向けての対策で国有財産を有効活用で、川崎市に保育用地を貸与するという。葉山町にも幾つか空いている国有地があるが。

町長 昨年中に旧衆議院宿舎の長期の賃貸も可能になったと説明があった。かなりの面積があるので、福祉目的の複合施設も考えられ、期待している。

議員研修会

1月26日に、大和田一紘氏をお招きして「市町村財政分析」のテーマで講演していただき、議員研修会を行いました。



町民・市民による財政分析活動・財政白書づくりのキーワードから始まり、成熟化社会における理念を具現化して、自治の到達点である財政民主主義を目指していく、地方分権改革が明治維新と戦後改革に次ぐ第三の革命になっていこうとしている。

実際に当町の決算カードから分析表に転記して、経常収支比率、健全化判断比率、実質公債比率など比較検討をしてみました。内容は分かりやすく、議員になったときに早く話を聞きたかったという声がありました。

みなさんからの陳情・要望のゆくえ

◎医業税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情	趣旨了承
◎大幅増と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める陳情書	趣旨了承
◎最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情	審議未了
◎後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める陳情	審議未了
◎高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情	審議未了
◎政務調査費見直しを求める陳情	趣旨了承
◎T P P 交渉参加反対に関する陳情	採 択
◎葉山町ごみ焼却炉の廃止を求める要望書	机上配布
◎葉山町ごみ焼却炉の廃止を求める要望書	机上配布
◎公共下水道・合併浄化槽比較データの精査を求める要望書	机上配布

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

◎汚水処理施設整備に係る検討を進める機関の設置を求める陳情

予算特別委員会の審査報告

2月16日から28日まで
の間に、現地踏査を含め
関係部課長等の説明及び
資料の提出を求め、細部
にわたり審査を行いました。
審査最終日には、町
長・教育長に対して、7
項目の質問を行い、委員
会の意思を決定いたしました。

教育長質問事項

- 1 活及び準要保護援助のあり方について
- 2 観光を生かした町の活性化施策について
- 3 勤労者住宅資金利子補給及び生活資金貸付事業は福祉目的として福祉部門への移管を検討すべきである。
- 4 緊急通報システムの対象者を日中独居高齢者にも拡大すべきである。
- 5 水産物の地産地消施策を検討すべきである。
- 6 緊急処理浄化槽から合併処理浄化槽設置整備補助事業を積極的に推進すべきである。
- 7 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽設置整備補助事業を積極的に推進すべきである。
- 8 容器包装プラスチックと廃プラスチックの処分コストについて

町長質問事項

要望

- 1 防災に関する事務の町長部局への所管変更に伴う体制についての基本的考え方及び消防職員の充足率について
- 2 現焼却炉を継続使用する事について
- 3 下水道投入施設整備事業における問題点について
- 4 起債の抑制を掲げる中で下水道整備事業における町債の発行について
- 5 高校進学金制度の復
- 1 基金の利子収入は、実績に見合った額を計上すべきである。
- 2 航空写真撮影業務はインターネットの地図情報の活用や近隣市と共同で検討すべきである。
- 3 総合計画後期基本計画策定に際し、住民の意思を聴取する場と方法を確立すべきである。
- 4 回覧文書の町ホームページへの掲載を検討すべきである。
- 5 一色小学校新館を生涯学習事業等で使用することには限界がある。他の施設を早期に検討すべきである。
- 6 子ども会育成連絡協議会に加盟する子ども会を増やすためにも協議会役員の役割軽減など何らかの支援策を講じるべきである。

指摘

- 1 広報はやま等の配布漏れが生じないよう抜本的な対策を講じるべきである。
- 2 町内会館等の修繕要望は、毎年同じ内容のものを提出させるのではなく、計画的に予算化すべきである。
- 3 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽設置整備補助事業を積極的に推進すべきである。
- 4 高校進学金制度の復活及び準要保護援助を拡充すべきである。
- 5 観光を生かした町の活性化施策を明確化すべきである。
- 6 現焼却炉修繕費及び下水道投入施設整備事業予算については、問題があり見直すべきである。

意見

- 1 納税者等の利便と収納率の向上を図るた

め、コンビニエンスストアでの支払いやカードによる納付制度の導入について検討すべきである。

2 町政功労者表彰の記念品についてその必要性を検討すべきである。

3 容器包装プラスチックと廃プラスチックの処分コストについては、町民の努力が無駄とならないようにすべきである。

4 街路灯等のLED化は、通学路など優先順位をつけて推進すべきである。

審査の中で議論され、特に抽出された要望・指摘・意見を付しました。



都市計画道路五ッ合森戸線道路整備工事了

平成23年度の予算審議結果

一般会計予算に関する審議結果について

予算特別委員会

新年度予算を集中審査するため設置した予算特別委員会では、町長から提案の一般会計予算ほか4特別会計予算に対して、委員から「一般会計予算について組替えを求める動議」が提出され、併せて審査を行いました。採決の結果、「組替えを求める動議」については賛成少数で、原案については賛成なしでそれぞれ否決。4特別会計予算については原案のとおり可決しました。

本会議

本会議でも、予算特別委員会に提出された動議と同様の組替え動議が提出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決しました。次に組替え動議の否決を受け、町長提案の一般会計予算案について採決した結果、賛成少数で否決しました。

一般会計予算が否決されたため、改めて町長から冒頭2ページの見出しにある歳入歳出予算の総額をそれぞれ317,100千円減額した一般会計予算が再提出され、原案のとおり賛成多数で可決しました。

なお、特別会計予算については、介護保険特別会計予算は全会一致で、その他の特別会計予算は賛成多数で原案のとおり可決しました。

(単位：千円)

一般会計予算歳入・歳出減額明細表

(単位：千円)

歳入	当初案	修正案	増減	備考
公共公益施設整備基金繰入金	139,000	60,000	△ 79,000	
清掃債	238,100	0	△ 238,100	下水道投入施設整備事業債
合計	377,100	60,000	△ 317,100	

歳出	当初案	修正案	増減	備考
ごみ焼却処理事業	122,704	24,740	△ 97,964	修繕料 (△10,102) 工事請負費 (△87,862)
クリーンセンター維持管理運営事業	92,971	62,971	△ 30,000	燃料費 (重油代)
下水道投入施設整備事業	317,556	0	△ 317,556	役務費 (△36) 委託料 (△10,920) 工事請負費 (△306,600)
小計	533,231	87,711	△ 445,520	
予備費	40,000	168,420	128,420	調整
合計	573,231	256,131	△ 317,100	

(注) 再提出された一般会計予算には、平成23年度中に実施予定の可燃ごみの「指定袋制」の関係費用が計上されているが、当制度の導入に必要な「葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例」が賛成少数で否決となったため、当該関係予算の執行の凍結を求める付帯決議を全会一致で可決した。なお、同決議には法的拘束力はないが、改めて同条例の一部改正案を上程し、可決されるまでは当該関係予算を執行しないと町長は答弁している。

議会広報特別委員会委員長 守屋亘弘

※表決結果は8～9ページをご覧ください。

意見書全文

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）
交渉への参加に反対する意見書

政府は、平成22年11月9日「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、このなかで環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）について、交渉の参加・不参加の判断は先送りにしたものの「関係国との協議を開始する」としたところである。

基本方針では、わが国農業分野について「国を開く」ことを目標に掲げているが、わが国は世界最大の農産物純輸入国であることから、農業分野はすでに十分に開かれており、国民の圧倒的多数が望むのは食料自給率の向上である。

仮に今後、政府がすべての品目を自由化交渉対象とし、TPP交渉に参加する判断を行えば、食料自給率の向上どころか国内農水産業を崩壊させることにつながる。生産所得が補償されても、輸入は増大し、地域の農水産業の崩壊、関連産業の衰退、雇用喪失により、地域経済・社会にも壊滅的な打撃を与えることは明らかである。

加えて、WTO農業交渉における「農業の多面的機能の発揮」と「多様な農業の共存」という高い理念の実現に向けた取り組みは、一瞬にして水泡に帰し、多くの国々や関係者の信頼を裏切る背信行為となるものである。

よって、わが国の将来にかかわる重要な課題を包含していることに鑑み、国においては、わが国の農水産業振興や食料安全保障をはじめ、地域経済・社会に与える影響を十分考慮し、次のとおり対応されるよう強く要望する。

- 1 関税撤廃が原則であるTPP交渉への参加は、国内農水産業へ甚大な影響を与えるのみならず、わが国の食料事情をきわめて危険な状況に追い込み、食料安全保障の観点から国の存続を危うくする可能性が高いため、交渉への参加は、断じて行わないこと。
- 2 今後、国際貿易交渉に当たっては、「『多様な農業の共存』を基本理念として、食料安全保障の確保や農業の多面的機能の発揮を図るなど、日本提案の実現を目指す」というこれまでのわが国の基本方針を堅持し、食の安全・安定供給、食料自給率の向上等を損なうことは行わないことを基本とする「食料・農業・農村基本計画」の方針を貫徹すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年3月10日 葉山町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、
農林水産大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、国家戦略担当大臣

決議全文

議案第78号 平成23年度
葉山町一般会計予算に対
する付帯決議

議案第64号「葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例」が、本日、賛成少数で否決された。

しかし、昨日、再提出された議案第78号「平成23年度葉山町一般会計予算」には、平成23年度中に予定されている燃やすごみの「指定袋制」の導入に必要な予算及び戸別収集用指定袋等購入費用が計上されている。

指定袋制については、予算特別委員会及びごみ問題特別委員会の審査の中で、費用対効果、実施時期、配布方法、周知等において課題が明らかになったところである。このような課題が解決しないうちに指定袋制を導入することは町政運営に多大なる影響を及ぼすと同時に将来へ禍根を残すことにもなると考える。

よって、これらの諸課題の早期の解決を求めるとともに、本予算に含まれる指定袋制導入の準備に要する経費について、改めて「葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例」が上程され可決されるまでの間、当該予算の執行の凍結を求めらるものである。

以上、決議する。

平成23年3月10日

葉山町議会

決議全文

下水道投入施設建設工事が中止に至った原因究明と責任の所在を明らかにすることを求める決議

し尿等の下水道投入施設建設工事については、請負契約の締結議案が平成22年11月30日に上程され、委員会付託となった。しかし、「本施設の計画敷地については、その一部に道路公社の土地を使用することで協議を進めていたが、その調整が間に合わなかった」として、同年12月6日付で議案撤回請求が提出され、同月9日に撤回が許可された。

また、平成23年第1回定例会の初日（2月8日）の町長行政報告において、借用を予定していた神奈川県道路公社の土地が存在せず、計画施設規模の建物に必要な敷地面積が確保できないことが明らかになった。

議会において、行政報告に対する質疑、予算総括質問、予算特別委員会での審査を行った結果、

- (1) 7月ごろから面積が足りないことが判明していたにもかかわらず、入札を行っていたこと。
- (2) 8月からの道路公社との協議には本件土地が含まれていなかったこと。

(3) 実施設計で敷地面積求積

図が作成されていなかったこと。

(4) 関係各課との連絡調整が行われていなかったこと。これらの事実が明らかとなった。これが事実と認められないと強く指摘せざるを得ない。

森英二町長は、長年の議会の要望であり、町の懸案でもあった、し尿等の下水道投入施設建設工事が、中止に追い込まれ事業の見直しを迫られているにもかかわらず、いまだに原因究明と責任の所在を明らかにすることなく、なら責任もとっていない。

よって町長は、町政に混乱を生じさせたことを真摯に受け止め、この問題に対するみずからの責任について謙虚に総括し、行動を正すとともに、今後二度とこのような事態を起さないためにも、速やかに原因を究明し、責任の所在とその対応について議会に報告するよう求めるものである。

以上、決議する。

平成23年3月4日

葉山町議会

議案・決議・意見・陳情等	議員名(議席順)													結果					
	畑中由喜子	近藤昇一	阿部勝雄	土佐洋子	山梨崇仁	伊東圭介	鈴木知一	佐野司郎	守屋巨弘	森勝美	伊藤友子	待寺真司	金崎ひさ		笠原俊一	加藤清	中村常光	鈴木道子	
議案	葉山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
議案	葉山町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
議案	葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	退場	退場	退場	×討論	除斥	×討論	○討論	○	退場	退場	退場	-	可決
議案	平成22年度葉山町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
議案	平成23年度葉山町一般会計予算	○	○討論	○	○	○	×	×	×	×討論	○	○	○討論	×	×討論	×	-	可決	
議案	葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例(議員提案)	×	×討論	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	○討論	○	×	×	×	-	否決
決議	下水道投入施設建設工事が中止に至った原因究明と責任の所在を明らかにすることを求める決議	○	◎	○	○	○	○	○	○	○討論	×	○	○	○	○	○	-	可決	
決議	森 英二葉山町長の不信任決議	×	×	×討論	×	×討論	◎	○	○	○討論	除斥	○討論	○討論	○	○討論	○	○	×	否決
決議	議案第78号 平成23年度葉山町一般会計予算に対する付帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	-	可決	
意見	環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書(委員会提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退場	○	○	○	退場	○	○	-	可決
陳情	医薬税制の存続と診療報酬への消費税のゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	大幅増と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	政務調査費見直しを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	趣旨了承
陳情	TPP交渉参加反対に関する陳情	○	○討論	○	×討論	○	○討論	○	退場	×討論	×	×	○	○	退場	○	○	-	採択

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

※「除斥」とは、審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です。

※議事は過半数で決するのを原則とし、議長に表決権はありませんが、特別多数議決の案件(長に対する不信任の議決)の場合は、議長にも表決権があります。

**こんなことが
決まりました**



◎葉山町景観法施行条例
全会一致で可決しました。
(10ページ参照方)

町長、副町長及び教育長の地域手当の月額を見直し、10%から6%に引き下げるものです。全会一致で可決しました。

◎監査委員の選任について
現委員櫻井勳氏の任期満了に伴い、後任に内藤文雄氏の選任同意を求めた。全会一致で同意しました。

◎葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
下水道投入施設建設工事が中止に至ったため、町長自ら執行責任者の責めを負い、2カ月間10%減給とするものです。賛成多数で可決しました。

◎人権擁護委員の推薦について
前委員永田和子氏の後任に成田美穂氏の推薦同意を求めるものです。全会一致で可決しました。

◎教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例



委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

葉山町景観法施行条例

葉山町景観計画に基づき、本町の良好な景観の形成を促進するにあたり、景観法に定める景観計画区域内における行為の届出、景観重要建造物及び景観重要樹木の指定等、制度の施行に関し、

法令により条例に委任されている事項を定める必要があることから、新たに制定するものです。

審査では、担当職員に条例の基本的な考え方等について説明を求め、質疑を行いました。

葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

各種委員会等の設置目的を踏まえ、地方自治法

委員からは「まちづくりの理念や町の責務、町民の責務などの規定がなく、どのようなまちづくりをしたいのか不透明である。法の施行条例ではない景観条例とすべきである」「定義規定一つにしても町民に分かりにくい。町民への周知は丁寧に分かりやすくすべきである」「今後、自治基

本条例やまちづくり条例と景観法施行条例の整合化・体系化が重要な課題である」などの不満や指摘の意見がありました。

しかし、全体として満足するものではないものの、景観計画を実現するために法律の委任規定に基づき必要な条例であることから、反対する理由

はなしとして、全会一致で可決すべきものと決しました。

審査では、担当職員に条例の基本的な考え方等について説明を求め、質疑を行いました。

委員からは「まちづくりの理念や町の責務、町民の責務などの規定がなく、どのようなまちづくりをしたいのか不透明である。法の施行条例ではない景観条例とすべきである」「定義規定一つにしても町民に分かりにくい。町民への周知は丁寧に分かりやすくすべきである」「今後、自治基

本条例やまちづくり条例と景観法施行条例の整合化・体系化が重要な課題である」などの不満や指摘の意見がありました。

しかし、全体として満足するものではないものの、景観計画を実現するために法律の委任規定に基づき必要な条例であることから、反対する理由

はなしとして、全会一致で可決すべきものと決しました。

審査では、担当職員に条例の基本的な考え方等について説明を求め、質疑を行いました。

委員からは「まちづくりの理念や町の責務、町民の責務などの規定がなく、どのようなまちづくりをしたいのか不透明である。法の施行条例ではない景観条例とすべきである」「定義規定一つにしても町民に分かりにくい。町民への周知は丁寧に分かりやすくすべきである」「今後、自治基

本条例やまちづくり条例と景観法施行条例の整合化・体系化が重要な課題である」などの不満や指摘の意見がありました。

とした監査結果が出されたことから、要綱等により設置されている委員会等の位置付けや役割、機能等について早急に調査・検討を行い、実質的に附属機関となるものを新たに条例に位置づけることとした」との説明がありました。

委員からは「厳格な運用により逆に町民参加を妨げることがあつてはならないし、これまで行われていた運用を否定しないために国に地方自治法の改正を求めることも必要である」「謝礼を支払う委員がいる機関はすべて附属機関とすべきである」「附属機関として位置付けたものは報酬額を条例上明確にすべきである」「附属機関かそうでないかを名称から判断できるように整理すべきである」などの意見や指摘がありました。

結論としては、住民監査請求による監査結果に基づく条例の一部改正で

あり、全会一致で可決すべきものと決しました。

審査では「自動車、機械産業、電気電子の主要

3業種は、TPPに加盟すれば利益になる面が大きいと考えられるが、TPP交渉に参加すれば、国内農水産業を崩壊させる。農業分野は既に十分に開かれており、国民の圧倒的多数が望むのは食料自給率の向上である」

「例外的な関税撤廃を原則とするTPPの参加は、第一次産業を壊滅させる。地域社会を崩壊させる。非関税障壁も対象とするため、日本の形が変わってしまう」との意見が大勢を占め「内閣府、農林水産省、経済産業省の3省庁の試算結果が異なり、政財界でも賛否両論あるなかで、的確な判断を行うのは困難である」とし、採決に当たり2名の委員の退席があつたものの、全会一致により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

委員長 伊藤友子

審査では「自動車、機械産業、電気電子の主要

3業種は、TPPに加盟すれば利益になる面が大きいと考えられるが、TPP交渉に参加すれば、国内農水産業を崩壊させる。農業分野は既に十分に開かれており、国民の圧倒的多数が望むのは食料自給率の向上である」

「例外的な関税撤廃を原則とするTPPの参加は、第一次産業を壊滅させる。地域社会を崩壊させる。非関税障壁も対象とするため、日本の形が変わってしまう」との意見が大勢を占め「内閣府、農林水産省、経済産業省の3省庁の試算結果が異なり、政財界でも賛否両論あるなかで、的確な判断を行うのは困難である」とし、採決に当たり2名の委員の退席があつたものの、全会一致により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

委員長 伊藤友子

審査では「自動車、機械産業、電気電子の主要

3業種は、TPPに加盟すれば利益になる面が大きいと考えられるが、TPP交渉に参加すれば、国内農水産業を崩壊させる。農業分野は既に十分に開かれており、国民の圧倒的多数が望むのは食料自給率の向上である」

「例外的な関税撤廃を原則とするTPPの参加は、第一次産業を壊滅させる。地域社会を崩壊させる。非関税障壁も対象とするため、日本の形が変わってしまう」との意見が大勢を占め「内閣府、農林水産省、経済産業省の3省庁の試算結果が異なり、政財界でも賛否両論あるなかで、的確な判断を行うのは困難である」とし、採決に当たり2名の委員の退席があつたものの、全会一致により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

委員長 伊藤友子

教育民生

医療税制の存続と診療報酬への消費税ゼロ税率適用とする意見書提出を求める陳情

社会保険診療は公共性・公益性が高く、事業税は非課税であるが、法人税引き下げ議論の中で、財源確保のため、見直しの対象化が懸念される。

また、診療報酬は非課税だが、薬剤、治療材料、医療機器にかかる消費税は医療機関の負担となっている。

診療報酬の事業税非課税、社会保険診療収入への租税特別措置法第26条の存続と、診療報酬への消費税ゼロ税率の適用を求める意見書の提出を求めているものです。

審査では「医療の現状として理解できる」「医療機関が最終消費者として税負担となれば趣旨は理解できる」などの意見

と「税制は大きな課題で具体的数値設定は困難」「免税措置の内容は理解しがたいものもある」などの意見がありました。

が、全会一致で趣旨了承すべきものと決しました。

大幅増と夜勤改善で安心安全の医療・介護を求め陳情

医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩と、国民の安全への期待の高まりなど、看護師・介護職員の労働条件が厳しさを増し、離職者も多く看護師・介護職員不足は深刻である。

看護師・介護職員等の労働条件を抜本的に改善し、国民が安心して、安全な医療・介護を受けられるよう、以下3点の意見書を国に対して提出を求めています。

1 ILO条約に基づき看護師・介護職員等の労働時間を1日8時間・週32時間以内、勤務間隔12

時間以上とすること。

2 医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。

3 患者負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

審査では「医療現場の長時間労働の現状、職場環境改善の必要性に鑑み、予算措置等の具体的金額は不明だが願意は理解できる」として、全会一致で趣旨了承すべきものと決しました。

委員長 阿部勝雄

議会運営

議会運営委員会は6回開催しました。

来期の選挙から、議員定数が17人から14人に減員されるため、常任委員会の定数についての議論を行い、2常任委員会のまま委員の定数を削減することとしました。

「政務調査費の手引き」について議論し、これを参考に政務調査費の用途について、適正化を確認しました。

陳情第22・29号「政務調査費見直しを求める陳情」を審査し、結論を出しました。

陳情の要旨は、議会改革を本町から発信し、議会の活性化を図るため、議員一人当たり月額2万円の政務調査費を10万円に増額することを求めているものです。

審査では「現段階で現行の額が十分とはいえないが、月10万円とする根拠が見出せない。問題提起

起し、今後、議論を行うために、趣旨了承とする」との意見が大勢を占めました。

よって、陳情の願意は理解できることから、全会一致により趣旨了承すべきものとしました。

その他、議会運営や、定例会の議事日程について議論しました。

委員長 近藤昇一

森英二町長に対する不信任決議について

去る3月10日、地方自治法第178条の規定により、森町長の政治姿勢は町内外の信頼を著しく失墜させ、葉山町政を混乱・混迷させた責任、即ち近隣自治体との信頼関係を悪化させ、町を不利な方向に進ませている責任は極めて重大であるとして、9人の議員

が町長に対する不信任案を提出しました。

今回の不信任決議については、議員数の3分の2以上の者が出席し、その4分の3以上の者の同意を必要としますが、議長を含めた記名投票の結果は賛成10、反対6、除斥1で否決となりました。



特別養護老人ホーム

ごみ問題特別

葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

平成23年2月8日に当委員会に付託され、25日に審査を行いました。

これは、燃やすごみの指定袋制を導入し、一般家庭から排出される燃やすごみの量が一定量超過した場合などの手数料を定めるとともに、クリーンセンターに直接持ち込まれる廃棄物の処理手数料の見直し等を行うものです。

審査では、実施に伴う費用対効果、実施スケジュール及び周知方法、戸別収集と指定袋導入の同時施行の必要性、指定袋配布種別の基準、事業系廃棄物への対応等の質疑がありました。

継続審査とすべきとの動議が提出されましたが、賛成少数で否決され

ました。よって、採決すべく審査をすすめました。

牛ヶ谷戸町内会モデル地区の戸別収集視察

意見として「担当はこの施行により減量できるとの確信から進めており、不転の決意を求め

3月3日、実施いたしました。狭い道も手慣れた足取りで休む間もなく収集をしていました。ごみ出しも整然として、きれいな街並みが形成されておりました。熱心な役員さんのご協力の賜物と推察いたしました。

「効果の試算に確信が持たないこと及び施行日が明確でなく不転の実施の姿勢が見えない。より実現性のある代案を期待したい」「減量化が進まない危機感がある中、この提案の効果は信頼できる。焼却炉がストップしている非常事態だからこそ住民の協力により、資源化・減量化をより進めなければならぬ」と指摘されました。

全町にわたる戸別収集の実施にあたり、各地区でどのような協力を仰げるのか、今後の大きな課題であると感じました。

委員長 金崎ひさ

生活排水特別

生活排水処理に関する特別委員会

本町における公共下水道事業計画認可区域外の生活排水処理に関する調査研究を目的として、平成21年6月29日、8人の委員によりスタートいたしました。

従来の委員会審査は、町当局から出された提案に対し、まず行政の説明を受け、質疑を行い、最終的に可否を判断することが常でした。

こうと動き始めました。会議での質疑を通し、町下水道事業の進捗が5割程度であり、平成32年度までの事業完成が難しいこと、下水道審議会に諮問し計画の見直しを行うこと、町長の下水道事業への考え方と住民の希望との間に乖離が生じていることなど、町の現況が再認識されました。

しかし、当特別委員会では、調査・研究に主眼を置き、本町にとって財政的な観点からも、極めて重要な施策である水環境の整備に対して、いかに早く、いかに費用をかけるに、すなわち最も効率的に進めるには、どのような手法で行うべきかを徹底的に議論をし、最終的には意見をまとめ上げて、町当局に対して提言できるように運営してい

そうした町の現況を踏まえ、委員からは「市街化調整区域における市町村管理型合併処理浄化槽の導入の検討をすべき」との提案や「住民が最も望んでいる生活排水処理の方法は何かを見極めて、行政は最大限実現できるように配慮するべきである」などの意見が出されました。なお、紙面の都合上、全て掲載できませんが、委員からは他にも多くの意見、提案等が出されました。

3月10日、本会議において所管事項調査報告を行いました。委員会運営の新たな試みとして、委員会メンバー8人が、この2年間、様々な調査や先進自治体の取り組みを研究する中で、それぞれの考え方や意見を発言してまいりました。これまでにない意見のぶつけ合いなどを通して、水環境整備に対する各委員の思いをしっかりと伝えることができたと考えます。

「指定袋の経費は削減効果でカバーできる」「人数による袋種の単一的な配布は再考すべき」などがありました。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

しかし、3月10日、本会議において採決の結果、賛成少数で否決され



牛ヶ谷戸ごみ戸別収集

議会は合議体であるが故に、発足当初より最終的に意見をひとつにまと

めることの難しさは懸念されていたとはいえ、結果的に委員会としての統一した見解としてまとめた。

しかし、議員の任期満了を目前に控え、これまで開催した委員会での調査や研究、議論などを報告書という形に残すべきものと判断し、平成23年3月10日、本会議において所管事項調査報告を行いました。

委員長 待寺真司



焼却炉

質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

近藤昇一

町長 今後検討したい 住宅耐震工事補助制度は継続すべきでは



問 21年度まで行っていた耐震補強工事に対する補助制度をなぜ廃止したのか。誘導策として制度は残しておくべきでは。

町長 耐震診断を重視する

問 21年度まで行っていた耐震補強工事に対する補助制度をなぜ廃止したのか。誘導策として制度は残しておくべきでは。

町長 耐震診断を重視する

金崎ひさ

町長 停止しているごみ焼却炉の今後は 25年度末までは稼働させる



問 築34年の老朽化した焼却炉を使い続けるということは、修繕することによりダイオキシン類発生の危機感をぬぐい去れるか。

町長 安心して使うために県と協議している。

問 不安を感じている町民の方々から焼却炉廃止の要望書が出ているが。

町長 よく承知している。ごみ処理基本計画の策定は。

生活環境部長 施設整備

町長 実態を見ながら再検討が必要などころは改善したい。

問 「教育・子育て日本一の町を目指します」との町長の公約に対する政治姿勢について伺う。

町長 着実に地道に問題と取り組んでいく。

問 着実に地道に、日本一になれるのか。

町長 方針を明確に出したい。

問 難視聴地域での地上デジタル放送への移行に伴い、テレビ難民を出さ



震災で崩壊した家屋

チックは3万3075円／tである。分別しない方が処理費は安く、町民の手間も省けると思うが。

生活環境部長 容器包装リサイクル法で定められており、6割の自治体

これに加入している。

問 ゼロ・ウェイスト政策で処理費の無駄をつくらない町を目指す葉山として、独自性を持つて

町長 23年度中に改善にむけ方向性を見い出す。

保健福祉部長 担当課が期限など把握してやっているのが大丈夫である。

問 タクシー券交付事業について、1回に数枚の使用を可能にする改善を。

森 勝美

三浦半島活断層沿いに専用地震計が設置されるが町に情報は入るのか 消防本部にも地震計はあるのか



承認され次第。

問 洪水ハザードマップ作成予定だが住民への周知と配布時期は。

消防長 町内会を通じてと、加入していない家庭は公共機関と店舗の協力をいただき配布。予算が

消防長 消防本部にも地震計は設置してある。

問 女性防火防災クラブのOG会の組織化は。

消防長 災害時に自主防災組織の一員として活動

する目的で育成しており現状ではしない。

問 環境の変化により不安の気持ちを持つ中一ギャップは当町の中学生でどうか。

教育長 正確なデータは

ここに無いが、傾向はある。22年度、教育課題研究会で研究を始めた。

問 新学期から5・6年生の外国語活動が本格的に始まる。教育委員会は

担任が教え易くする事を考えているか。

教育長 担任の研修をし

ALTとボランティアを配置している。

問 葉山小に導入予定の

電動生ごみ処理機で一色小分も処理できないか。

教育長 ささまざまな形で検討したい。

問 南郷テニスコートの無休化の効果は。

教育長 10月以降増えている。23年度6月以降も

一年間試行を継続する。

その他 DV相談事業について。ドッグヤード管理事業について。

伊東圭介

3年連続で予算原案が否決されたが 町長 非常に残念なことである



各課の考え方を把握し、問題点を整理し、必要な修正を加えて最終的な予算案に仕上げた。否決されたことは残念であるが指摘された内容を踏まえ、再提出させていた

問 3年連続で一般会計予算原案が否決され、認められなかった状況は異常であり、町長の責任は重大である。見解を伺う。

町長 予算案については、その可否が町民サービスに重大な影響を及ぼすことから、査定の場

町長 最終決定権は町長にある。自分の判断で財

各課の考え方を把握し、問題点を整理し、必要な修正を加えて最終的な予算案に仕上げた。否決されたことは残念であるが指摘された内容を踏まえ、再提出させていた

問 予算編成のルールに基づき、住民の要望や各課の考え方を調整できていないのではないか。

町長 最終決定権は町長にある。自分の判断で財

各課の考え方を把握し、問題点を整理し、必要な修正を加えて最終的な予算案に仕上げた。否決されたことは残念であるが指摘された内容を踏まえ、再提出させていた

町長 最終決定権は町長にある。自分の判断で財

る不祥事の原因と責任について見解を伺う。

町長 いくつかの点について業務執行上、適切とは言えない行為があり議

会から指摘されたのは事実である。決してあつてはならないことであり、

事の重大さは改めて認識

問 副町長を置くべきではないか。

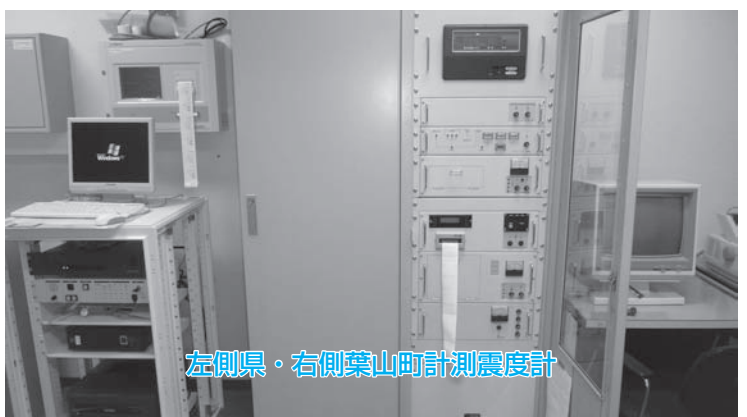
町長 人選はしているが

決定に至らない状況だ。

決定に至らない状況だ。



空席のままの副町長席



左側県・右側葉山町計測震度計



志布志市の資源化された堆肥

鈴木知一

**町独自の堆肥化施設の計画を推進しては
町長 当町では立地条件、産業構造などで難しい**



町長は生ごみ、植木剪定枝、あるいは海草類などの処理を考えているか伺う。

町長 農業が盛んな地域

家庭の生ごみや、大量に出る植木剪定枝、荒れ始めている里山の問題、砂浜に打ち寄せられる海草類の処理など、葉山町独自の堆肥化施設の建設を計画していかねばならないと考える。

問 クリーンセンターの放流水から排出基準値を超えるダイオキシン類が検出されたことの原因

は、様々考えられるが、34年も経過し、老朽化した焼却炉であることが一番の問題であると認識すべきである。設計上も、構造上も、環境的にも、経済的にも、人道上も、

待寺真司

**一旦辞職をして町議選挙と同日選挙をしては
町長 今更にご答える立場にはない**



問 平成23年度当初予算

清掃費と「葉山町ごみ処理基本計画案」のごみ処理経費との整合性は。

町長 計画のごみ処理経費は、推計ごみ量から算定している。そのためそれぞれの経費に乖離が生じているが、ごみ量が計

画どおり減れば計画値になるものと考ええる。

問 計画案に対する57人の町民から出されているパブリックコメントを、今後どう取り扱うのか。

町長 ダイオキシン類が基準値を超えて検出され、公表を中止している。現在、施設整備に関する検討を行っている。ごみ処理基本計画を公表する時に町の考え方を示す予定だ。

問 平成20年度葉山町中

期財政見直し改訂版の、計画値や目標値の見直しを行うつもりはあるのか。

町長 計画値と予算額に一部乖離が生じた。要因の分析を行いつつ、総合計画基本計画見直しの動向や情勢の変化を踏まえ、しかるべき時期に見直す。

問 地域手当引き下げの労使交渉はいつからだ。

総務部長 確か今年に入ってからだと思う。

問 組合との交渉は順序立ててしっかり行うべき。

いた。418・19平方メートルの敷地で、建ぺい率30%、容積率50%の図面が示されていたが、本当にこの費用が無駄にならないか伺う。

町長 使う面積が狭くなつたが、規模を縮小しても、効率的にかつ安くに建設できる方法を探している。

問 組合との交渉は順序立ててしっかり行うべき。

町長 組合幹部とは真摯に向き合っている。決してルーズに行っていない。

問 ゼロ・ウェイスト事業に多額の予算をつけるなら、辞職して町民に信を問うべきだ。町議選との同日選挙をしては。

町長 ごみ指定袋導入に否定的な意見はない。選挙に関しては、今ここで答える立場にはない。

問 組合との交渉は順序立ててしっかり行うべき。

町長 組合幹部とは真摯に向き合っている。決してルーズに行っていない。

問 ゼロ・ウェイスト事業に多額の予算をつけるなら、辞職して町民に信を問うべきだ。町議選との同日選挙をしては。

町長 ごみ指定袋導入に否定的な意見はない。選挙に関しては、今ここで答える立場にはない。

問 組合との交渉は順序立ててしっかり行うべき。

返事が何もされていない！



返事が何もされていない！

阿部勝雄

小児医療補助は小学卒業まで必要

町長 臨財債活用も含め年度途中で考える



途中でも考えたい。

問 保育園待機児童ゼロの保育計画の作成は。

町長 昨年25名増やしたが、解消していない。最低基準を守り、定員を超えて実施する予定だ。保

育計画は23年度中に作成し、小学校6年生まで拡大し、せめて近隣

と肩を並べるべきだ。たい。

問 特養・老健等の福祉施設整備計画は。

町長 23年度は、2年生まで拡大したが、重要なテーマで、臨時財政対策債の活用等も含め、年度成26年度までの第5期高



一色台の資源ステーション

問 資源ステーションは各町内会ごとのものや、不用品のリサイクルセンターを兼ねた規模のものがあるが、どうか。



畑中由喜子

リサイクルセンターの設置は

町長 具体的な場所の選定には至っていないがぜひ進めたい

町長 常設型の大きなリサイクルセンターはそれなりのスペースや立地条件も必要で、構想は持つ

問 資源ステーションは各町内会ごとのものや、不用品のリサイクルセンターを兼ねた規模のものがあるが、どうか。

町長 常設型の大きなリサイクルセンターはそれなりのスペースや立地条件も必要で、構想は持つ

問 資源ステーションは各町内会ごとのものや、不用品のリサイクルセンターを兼ねた規模のものがあるが、どうか。

町長 常設型の大きなリサイクルセンターはそれなりのスペースや立地条件も必要で、構想は持つ

町長 常設型の大きなリサイクルセンターはそれなりのスペースや立地条件も必要で、構想は持つ

問 資源ステーションは各町内会ごとのものや、不用品のリサイクルセンターを兼ねた規模のものがあるが、どうか。

町長 常設型の大きなリサイクルセンターはそれなりのスペースや立地条件も必要で、構想は持つ

町長 常設型の大きなリサイクルセンターはそれなりのスペースや立地条件も必要で、構想は持つ

問 国保会計の格差は広がるばかり。一般会計繰入金を増やす必要がある。

町長 23年度に3000万円繰入れ、少し縮めた。学校全教室エアコン

問 学校全教室エアコンのトイレの臭いが強

町長 23年度は、長柄小学校のトイレの臭いが強

問 国保会計の格差は広がるばかり。一般会計繰入金を増やす必要がある。

町長 23年度に3000万円繰入れ、少し縮めた。学校全教室エアコン

問 学校全教室エアコンのトイレの臭いが強

町長 23年度は、長柄小学校のトイレの臭いが強

問 国保会計の格差は広がるばかり。一般会計繰入金を増やす必要がある。

町長 23年度に3000万円繰入れ、少し縮めた。学校全教室エアコン

問 学校全教室エアコンのトイレの臭いが強

町長 23年度は、長柄小学校のトイレの臭いが強

問 国保会計の格差は広がるばかり。一般会計繰入金を増やす必要がある。

町長 23年度に3000万円繰入れ、少し縮めた。学校全教室エアコン

問 学校全教室エアコンのトイレの臭いが強

町長 23年度は、長柄小学校のトイレの臭いが強

設置とトイレ改修計画は。教育長 施設整備は、耐震など緊急性、老朽施設改修を優先的に進める。

問 合併浄化槽の方向は。町長 審議会資料として、市街化調整区域の800世帯にアンケート実施と、合併処理浄化槽の簡単な説明資料を添付した。

町長 審議会資料として、市街化調整区域の800世帯にアンケート実施と、合併処理浄化槽の簡単な説明資料を添付した。

く、処理方法も含め検討し、公共下水道に切りかえなどの対応を図る。

町長 審議会資料として、市街化調整区域の800世帯にアンケート実施と、合併処理浄化槽の簡単な説明資料を添付した。

町長 審議会資料として、市街化調整区域の800世帯にアンケート実施と、合併処理浄化槽の簡単な説明資料を添付した。

葉山町小児医療費助成制度のご案内

対象となる方

- ◆町内にお住まいの健康保険に加入されている、0歳から中学校卒業までのお子さまで、次に該当しない方。
- ①生活保護を受けている方
- ②重度障害者医療費助成制度またはひとり親家庭等医療費助成制度の対象の方
- ③児童福祉施設などの施設に入所している方
- ④里親に委託されている方 など

概 要

※平成23年4月から、小学校2年生まで対象年齢が拡大されました。4月より前に受診されたものについては、従前の制度となります。

対象年齢	医療費の助成	医療費の負担割合	医療証の有無	医療証の取得時期	医療費の助成方法
0歳児～	入院	なし	あり	小学校入学	医療証と被保険者証を提示すると、保険診療

小児医療費補助のパンフレット

伊藤友子

止まらない不祥事連鎖の防止策は 町長 原因究明をして再発防止に努める



問 22年度は、庁内不祥事が4件以上と続発、又公用車での過失100%の事故も多発し異常だ。再発防止策はあるか。

町長 あってはならないことで事の重大さを認識している。



問題の投入施設用地

問 不祥事の一つは、昨年3月、下水道浄化センター内の工事で、当初予定になかった4系列目の調整池に攪拌機と防食工事を入札差金で行った。

総務部長 昨年4月2日、町長の給料3ヵ月10%カット、生活環境部長と下水道課長は口頭注意。

問 昨年6月、前年度分の国民健康保険運営委員への報酬未払いの処分は、

清 加藤

最終決裁印は精査せずに押すのか 町長 間違いついご前提は置いていない



問 昨年6月17日付で総務部長口頭注意、クリーンセンター所長訓告となった。

問 昨年8月、国保の補

問 現焼却炉を延命する老朽化対策工事の考えは。

町長 県の指導、提言を待ちながらの計画は必要。尿投入施設実施設計を進めるのに、敷地面積等の調査はしていたか。

町長 基本設計から実施設計に至るときに、土地

正予算に計上した繰入金土地が未確定なのに建屋を、未処理のまま出納閉鎖の時期を過ぎてしまった件で職員への処分は。

総務部長 昨年9月1日付で総務部長は文書で厳重注意、保健福祉部長は口頭注意、健康増進課長は文書で訓告、クリーンセンター所長降任、福祉課課長補佐は降級とした。

問 下水道投入施設では

土地が未確定なのに建屋の実施設設計費を1890万円支払ってしまったなど不祥事が止まらないが、

町長 原因究明が重要だ。職員には、考査委員会を経て処理を考えていく。私は給料削減をする方針。

その他 行政改革、自治基本条例について。

の確認がなく調査不足だ。

問 調査不足であるにも、最終決裁者の町長が行わせたのか。

町長 直接具体的な調査内容の説明を聞きながらでなく、決裁している。

問 実施設計は各課に聞かず担当課のみで進め、関係各課は機能してなく、最終決裁したのか。

町長 土地等の調査不足により今回の結果になった。必要に応じ関係課の



葉山町役場

連携が非常に重要である。

問 重要であれば、町長の考えをお聞きする。

町長 その時点では、このような失態になることは予測していない。

問 基本設計、実施設計に支払った責任は。

町長 設計会社の進め方、手順等を含め調査をすれば、責任問題がどの程度あるかが出てくると思う。

問 横浜市との契約は23年度末で終了する。投入施設を単年度で設計及び建築するには、無理と思

年度末で終了する。投入施設を単年度で設計及び建築するには、無理と思

町長 無理、不可能と決めつけないでほしい。この目標方向で検討している。計画予定は持っている。いくつかの方法を検討している段階。その中で、23年度末に完成させるよう、内容、方法を検討している。

土佐洋子

危機管理の意識に欠ける 町長 そこのまでの危機は感じていない



問 ヒブ、肺炎球菌ワクチンの予防接種の実施は。

保健福祉部長 見合わせを継続し、安全が確保できるときに実施する。

問 供給の不足している、子宮頸がんワクチンの接種については。

保健福祉部長 新年度予想 かつて町長は、消防

張ってくれている。

算で中学校3年生から高校1年生が対象だが、23年度中に接種できなかった高校1年生が2年生まで接種できるように運用。

問 消防職員の充足率が

消防長 平成7年に280カ所を検査したが、保健所

拡充について。

問 災害時用指定井戸が

町内で偏っていないか。



山梨崇仁

地域と連携し実用的な避難経路の確保が必要 総務部長 町内会と話し合う

の検査に合格したのはわずか9件。現在15件の検査を実施している。

問 町長が草津の町民ス

キーにいるときに役場と

連絡が取れなかったこと

があり、危機管理の認識

が足りないと考ええる。

町長 危機管理のなさと

いうとらえ方もある。

問 手話通訳士の設置の

拡充について。

問 地震や洪水、津波、

火事や応急処置など、さ

まざまな情報を一元化し

た冊子を作成すべきでは。

総務部長 1冊を持って

いれば全てわかるという

町長 少しでも便利にな

るように、前進させたい。

問 町の天然記念物であ

る芝崎ナチュラリザー

ブが事業から消えたが。

教育部長 教育長と管理

職でパトロールし、保全

を含め磯の大切さを啓発。

問 転入など窓口に来た人へ

の積極的な声かけ、案内

などをすべきでは。

生活環境部長 方法等を

検討させていただきたい。

問 独居高齢者などに

は、行政が部署を横断し

た包括的な情報連携で細

やかな配慮がなされるべ

きだ。

保健福祉部長 お年寄り

が心配、という視点から

始まっている。各部長に、

その他 行政評価、職員

研修、公園のあり方他。

問 人が集まる町内会館

にAED設置を進めてい

こうと考えられないか。

生活環境部長 そのよう

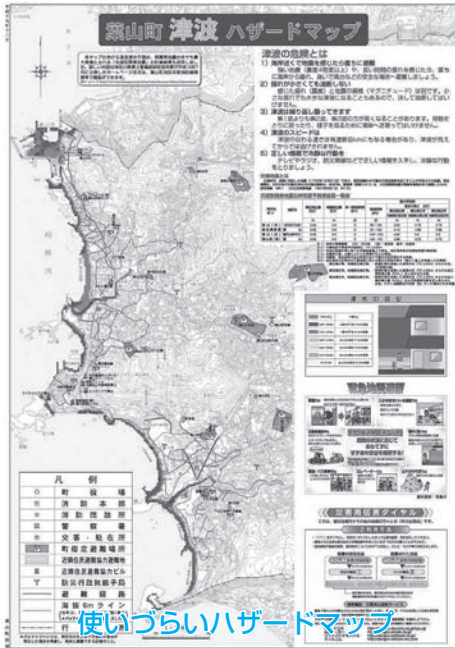
な設置の方法で検討させ

ていただきたい。

問 バス停に屋根、私も

京急バスに相談に行った

が、町も交渉しているか。



使いづらいハザードマップ



緊急消防援助隊による被災地での捜索活動

守屋 亘 弘

逗葉新道料金無料化について

町長 今後も県に要望する



ていく。よる処理を継続していく

問 平成14年度3月策定

考えた。その他 生ごみ資源化施設建設について。

設計書」の中で、最終処分における課題として、

最終処分においては全

問 昨年7月30日の県知

事との横須賀・三浦地区

が、自区内処理の原則か

は逗葉新道料金の早期無

備にとりかからねばなら

が、県はどのように回答

したのか。える自区内処理あるいは

町単独処理ということ

町長 逗葉新道料金無料

化問題は、かねてより県

を建設しなければならな

に要望してきた。県とし

ては神奈川県道路公社の

い。論理的にはそういう

経営に与える影響によ

ことになる。最終処分場

はごみ処理施設全体の

一況にはない。三浦半島中

部をなすのであり、どう

して建設できないのか。

町長 最終処分場につい

ては、町内にその施設を

取り組むとのことだ。し



逗葉新道料金所

議 会 活 動 日 誌

今回は、第4回定例会終了以降、第1回定例会終了までの活動報告をいたします。

12 月

21日 広報特別委員会

22日 教育民生常任委員会

6日 広報特別委員会

11日 議会運営委員会

13日 広報特別委員会

14日 総務建設常任委員会

19日 香川県木田郡三木町

26日 議員研修会

31日 議員懇談会

4日 議会運営委員会

8日 本会議(定例会)

15日 本会議(定例会)

16日 本会議(定例会)

17日 予算特別委員会

18日 予算特別委員会

21日 予算特別委員会

22日 予算特別委員会

23日 予算特別委員会

24日 予算特別委員会

25日 生活排水処理に関する特別委員会

28日 予算特別委員会

1日 総務建設常任委員会

2日 議会運営委員会

3日 教育民生常任委員会

3日 全員協議会

4日 総務建設常任委員会

7日 本会議(定例会)

8日 本会議(定例会)

9日 本会議(定例会)

10日 議会運営委員会

10日 本会議(定例会)

議会運営委員会

2 月

4日 議会運営委員会

7日 本会議(定例会)

8日 本会議(定例会)

9日 本会議(定例会)

10日 議会運営委員会

10日 本会議(定例会)

議会運営委員会

町長行政報告

(1千万円以上 5千万円未満の契約)

①葉山浄化センター1系

列水処理施設修繕

1419万2千円

②都市計画道路五ツ合森

戸線道路整備工事

1737万8千円

③下山川支流桂川河川整

備工事

1442万7千円



下山川支流桂川河川整備工事了

表紙説明

4月10日、統一地方選挙の前半戦となる知事選挙が行われた。逗子葉山地区



区での県議選は立候補者が定数の1人のため、無投票となった。開票は葉山町福祉文化会館大会議室で行われた。



議会広報特別委員会の8人です。2年間編集作業ご苦労さまでした。

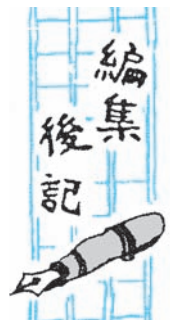
議会交際費支出状況 (平成22年10月～23年3月)

平成22年度下期支出総額は188,493円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください。)

種 別	件 数	金額(円)
慶 弔 費	2	31,500
会 費	7	42,000
賞 品 代	2	10,780
寸志(祝金)	5	52,576
そ の 他	8	51,637
合 計	24	188,493

40年も前から、関東地方へ電気を送っている福島第一原子力発電所、13日の爆発から放射能による被曝の恐怖が、周辺地域のみなならず、国際的にも注目されている。絶対

1・9の東日本大震災が発生した。地震で家屋の倒壊をまぬがれても、大津波にのみ込まれ、死者行方不明者合わせ2万7800人に達する壊滅的な大災害になった。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。



も注目されている。絶対人も議員が不信任案に

40年も前から、関東地方へ電気を送っている福島第一原子力発電所、13日の爆発から放射能による被曝の恐怖が、周辺地域のみなならず、国際的にも注目されている。絶対人も議員が不信任案に

安全と言われ続けてきた日本の原子力発電所が、大津波の影響で補助電源を失い、炉心溶融や制御困難な事故に陥っている。最大の叡智と努力、



新議会事務局次長
廣瀬 英之
(前企画調整課長補佐)
よろしくお願ひします。



前議会事務局長
上妻 良章
(新教育部長)
お世話になりました。



新議会事務局長
山本 孝幸
(前議会事務局次長)
よろしくお願ひします。

人事異動がありました

賛成した。森町政はあと9カ月間、議会との対峙は長く続く。24日の町議会選挙結果はどのような顔ぶれになるのだろうか。4月10日記 鈴木知一

- 議長 鈴木道子
議会広報特別委員会
守屋 亘弘
阿部 勝雄
森 勝美
加藤 清
鈴木知一
土佐 洋子
待寺 真司
中村 常光

**平成23年 第2回定例会は
6月7日(火)
からの予定です。**

皆様の傍聴をお待ちしています。
<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai>

傍聴記
長柄 結城瑛子
議会や委員会の傍聴に時々来ていますが、傍聴用に資料等を閲覧できる様、配慮いただければ幸いです。
住民中心(主体)の運営をお願い致します。